

第 123 回入札監理小委員会 議事録

内閣府官民競争入札等監理委員会事務局

第 123 回入札監理小委員会
議事次第

日 時：平成 22 年 5 月 14 日（金）19:17～19:32
場 所：永田町合同庁舎 1 階 第 1 共用会議室

1. 実績評価（案）の審議

- 情報処理技術者試験事業（(独)情報処理推進機構）

2. その他

<出席者>

（委員）

樫谷主査、稲生専門委員、

（(独) 情報処理推進機構）

情報処理技術者試験センター 林副試験センター長、実施グループ 中谷グループリーダー、鈴木調査役、企画グループ 柳橋主幹

（内閣府）

公共サービス改革推進室 佐久間室長

（事務局）

佐久間事務局長、上野参事官、山西参事官

○樫谷主査 お待たせいたしました。それでは、ただいまから第123回「入札監理小委員会」を開催したいと思います。

本日は、独立行政法人情報処理推進機構の情報処理技術者試験事業の実施状況及び実績評価(案)についての審議を行います。

本件事業につきましては、平成19年10月から22年までの3年3か月の契約期間として、高松試験地と那覇試験地において受託事業者が事業を実施しているところでございますけれども、平成22年3月末時点での実施状況を調査していただいておりますので、まずは、事業の実施状況について、情報処理推進機構情報処理技術者試験センター、林副試験センター長より御説明をお願いしたいと思います。5分程度で、済みません、よろしくお願いいたします。

○林副センター長 試験センターの林と申します。よろしくお願いいたします。

本日は、御紹介ありましたように、高松、那覇試験地で事業者が実施いたしました情報処理技術者試験の会場確保、監督員確保、試験実施運營業務について、その実施状況の御報告をいたします。

当事業は、19年10月から22年12月までの3年3か月のうち6回の試験を担当することになっておりますけれども、そのうち4回分を実施しましたので、その実績を確認したところでございます。

事業者は、高松試験地が株式会社全国試験運営センター、沖縄試験地は那覇商工会議所でございます。

実施状況の把握方法ですけれども、事業者からの報告書の確認、それから事業者へのヒアリング、受験者からの問い合わせ状況、それから回収した答案枚数、管理帳票の記載内容等を通じて事業の実績を把握いたしました。

把握の視点といたしましては、資料の1ページ目の下段にあります(2)の「調査項目」というところで挙げている視点から調査の方をいたしました。

2ページにまいりまして、まず、高松試験地の実施状況でございますけれども、①試験問題の事前漏洩、答案の回収漏れにつきましては、表にありますとおり、一件もありませんでした。私どもも大変神経を使うところでございまして、保管、輸送に関しましては、施錠ですとか封印、検品を確実にを行うようにしまして、事業者の方と連携して、安全・確実に実施したところでございます。

中段下の②当日試験運営についてでございます。(a)から(e)で示していますように、所定の試験時間の確保、マニュアルに沿った運営など、試験実施業務を安定してできている状況でございます。

試験会場につきましては、3ページ、(f)にありますように、私どもが実施してきたときと同じ会場で実施している状況でございます。

その下の(g)(h)でも示しましたように、寄せられたクレームも一件もありませんでしたし、報告書等を見ても問題なく実施しているという報告を受けておりますし、試験室ごとの管理票も我々すべてチェックしておりまして、そこにも特段のコメントもありませんでした。順調にできたものと判断しております。

4ページにまいりまして、実施経費でございますけれども、ここはその表に示してあるとおりの経費でございます。

以上、高松試験地においては、確保すべき水準をクリアーして実施できたものと私どもは評価しております。

次に、那覇試験地でございます。5ページからございまして、高松と同じ評価項目でございます。中段①、試験問題の事前漏洩、答案の回収漏れにつきましては、表にありますとおり、こちらも一件もありませんでした。

6ページにまいりまして、試験当日の運営でございますけれども、(a)から(e)で示しておりますように、試験実施業務は安定して実施できております。

試験会場は、(f)にありますように、沖縄大学が工事で借りられないといったようなときでも、事業者の方の努力によりまして、確実に会場確保ができて、確実に実施の方もできております。

表の下の(g)(h)でも示しましたように、寄せられたクレームもありませんでしたし、これについては順調にできたものと判断しております。

8ページにまいりまして、中段、実施経費でございますけれども、これも表に示してあるとおりの実施経費でございます。

以上、那覇試験地においても確保すべき水準をクリアーして実施できたものと私どもは評価しております。

試験センターの説明は以上でございます。

○樫谷主査 ありがとうございます。

それでは、同事業の実績評価(案)につきましては、内閣府より説明をお願いしたいと思います。5分程度で。

○公共サービス改革推進室 情報処理技術者試験事業の実施状況報告を受けまして、内閣府の実績評価について報告させていただきます。

業務に当たり、確保されるサービスの質として定められておりますのが、機構の試験会場の借り上げ実績を参考とした、おおむね交通の便がよく、受験申請者数全員の収容が可能な試験会場の確保、試験室内の余裕を持った座席配置、マニュアルに基づいた受験者の安全確保を第一に考えた試験運営、試験会場周辺住民の生活環境に配慮及び試験会場周辺での交通トラブルの防止となっております。

確保されるサービスの質について、実施状況報告を基に、内閣府にて実績評価を行いました。試験会場の確保につきましては、高松試験地、那覇試験地とも、交通の便がよい、従来と同様の会場を確保しており、また、受験者全員を確実に収容できる会場を確保しており、サービスの質は達成できたものと評価できます。

余裕を持った試験室内の座席配置についても、マニュアルに記載されております、1テーブル3名分けの机に2名座らせるなど、受験者が試験に臨みやすい、余裕を持った座席を配置しており、特に苦情も受けていないため、サービスの質は達成できたものと評価できます。

マニュアルに基づいた受験者の安全確保を第一に考えた試験運営については、試験問題漏洩の絶対防止、試験時間の過不足防止、不正行為防止、公平な出欠確認や受験資格の確認、回収した答案用紙の加筆及び訂正の絶対防止、未使用答案用紙の欠席者及び部外者への流出絶対防止など、定め

られているものにつきましては、全てマニュアルどおり実行されており、サービスの質が達成されたものと評価できます。

試験会場の周辺住民の生活環境への配慮とトラブルにつきましても、適切に警備員の方を配置しており、また、トラブルとか周辺住民からの苦情も一件もないということですので、確保すべきサービスの質が達成できたものと評価できます。

実施経費の方につきましては、今回、試験6回分同士を比較したところ、高松試験地につきましては従来経費の約48%、那覇試験地につきましては同額程度の金額となっております。

最後に総括になりますが、今回実施していただいた高松試験地、那覇試験地とも、機構が事業を実施していたときと同様、試験問題の漏洩や試験遂行の際のトラブルも一件もなかったことから、設定された確保すべき水準はすべて達成できるものと評価できます。

更に、高松試験地におきましては、試験の2週間前までにマニュアルを配付し、理解不足の事項を確認してもらうために、実施要項に記載のなかったe-learning研修を実施するなど、試験事業を確実に遂行するための受託事業者の創意工夫が発揮されております。

今後も、高松試験地及び那覇試験地におきましては、引き続き民間競争入札を実施していくとともに、民間競争入札未実施の地方支部が実施している試験地につきましても、平成22年10月から行われます他の試験地の実施状況を踏まえながら、民間競争入札を実施していく必要があるのではないかと考えられます。

以上になります。

○樫谷主査 ありがとうございます。

それでは、ただいま御説明いただきましたことにつきまして、御質問、御意見ございませんでしょうか。

○稲生専門委員 質問だけですけれども、受験申請者数のでこぼこの状況ですけれども、高松試験地については、平成20年度の春、秋、あるいは平成21年度を通じてそんなに大きな変化はないのですけれども、那覇試験地については、平成20年度が1,500人、まあ1,600人弱、それから平成21年度の秋が2,000人という形でわりと凸凹しているように思えまして、同じような試験でありながらこういった凸凹があるのは何か特殊な要因があるのかということ。

何が聞きたいかというのと、そのこと自体よりも、それによって業者の方が悲鳴を上げているとか、そういう状況がなかったかどうかということですので、その2点についてお聞きできればと思っておりますので、よろしくお願いします。

○樫谷主査 ありますか。

○鈴木調査役 応募者数に関しましては、全般的には、徐々にですが、平成20年度までは減少傾向という形で全国的には推移しておりました。21年度から試験制度の改革がございましたので、春から応募者の方が増えました。それにつきまして、沖縄の場合は19年の秋は多いですが、全般的には、19,20年に比べて21年は増加しています。逆に高松が余り伸びてないということで、那覇は全国に近い形で伸びたということになります。

業者の方からの悲鳴ということに関しましては、会場確保という面では大変だったという話は聞

いております。ただ、実施要項を作成したときは18年の数字が最新の年度でしたので、18年度との比較では、年度によって受験申請者数の増減はありますけれども、極端に増加しておりませんので、対応できたように考えられます。地元の事業者ということで、20年度、21年度ともに中学校をお借りして対応できたということで、大変ですがなんとかなったようです。また、会場については、全国的に確保が大変であり、特に東京では顕著ですが、全体として会場の確保は、それなりには何とかなりました。

○稲生専門委員 それに伴って、特に経費増について何か御意見があったとか、そういうことも特にはないですか。もう少し経費をいただけるともうちょっと効率的に確保できたとか、そういうようなことは特になかったでしょうか。

○鈴木調査役 イベント会場みたいなところは別とすれば、大学等はお金を出せば貸してくれるところではありません。あくまで学内行事等が優先ですので、どちらかというところ、人間関係といたしましては、頻繁に訪問して、顔つなぎをしておいて、できる限りその日を確保するというような形なので、そういう意味では、100人なり200人増えたから、何十万も何百万も増えたとか、そういうことはなかったとっております。

○稲生専門委員 ありがとうございます。

○樫谷主査 非常にうまくやっていただいて、大変感謝しております。まだ次、10月から控えておりますので、順調に同じようにいくように期待しておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

事務局から何かありますか。

○事務局 特にございません。

○樫谷主査 それでは、大変ありがとうございました。それでは、情報処理技術者試験事業に関する審議はこれまでとさせていただきますと思ひます。

内閣府におかれましては、本日の審議を踏まえまして、本評価（案）について情報処理推進機構とさらに協議を行っていただき、その結果を当委員会まで御報告いただくようお願いしたいと思ひます。

また、委員の先生方におかれましては、本件に関する監理委員会への報告等につきましては、私に御一任いただきたいと思ひますが、よろしいでしょうか。

（「お願いします」の声あり）

○樫谷主査 ありがとうございます。それでは、本件に関しては、今後私の方で調整を進めさせていただきますと思ひます。

それでは、本日の入札監理委員会はこれで終了したいと思ひます。

なお、次回開催につきましては、事務局から追って連絡いたします。本日はどうもありがとうございました。